

2025年9月の沖縄地方の平均気温平年差は過去最高を記録

沖縄地方の平均気温平年差は+1.6℃となり、9月としては統計開始以降で最も高くなりました。また、東シナ海南部と沖縄の東の海面水温（速報値）も、解析値のある1982年以降で、9月として最も高くなりました。

9月の沖縄地方の地域平均気温平年差（※1）は+1.6℃で、昨年の記録を上回り2年連続で9月としては統計を開始した1946年以降で最も高くなりました。沖縄県内の25観測地点（アメダス等）でも、15地点で月平均気温の記録を更新しました（1位タイを含む）。

日々の気温でも、4日に名護で34.5℃、11日に盛山で34.5℃、16日に安次嶺で34.1℃、26日に渡嘉敷で31.7℃、29日に宮城島で34.8℃を観測し、9月としての日最高気温の極値を更新しました。また、日最低気温でも、15日に伊原間で29.0℃、20日に盛山で28.2℃を観測し、9月としての日最低気温の高い方からの記録を更新しました。

9月の地域平均気温平年差の高い方からの順位

順位	年	地域平均平年差（℃）
1	2025	+1.6
2	2024	+1.2
3	2017, 2014	+1.1
5	2009	+1.0

平年値期間は1991～2020年。統計開始は1946年。

沖縄周辺海域の海面水温は、東シナ海南部で30.3℃（歴代1位）、沖縄の東で30.3℃（歴代1位）、沖縄の南で30.0℃（歴代2位）（いずれも速報値）となり、解析値のある1982年以降、9月としては記録的に高くなりました。

この記録的な高温の主な要因は、上空の暖かい空気に覆われやすかったことや、太平洋高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったためです。また、地球温暖化等の影響や、高い海面水温に囲まれたことも寄与した可能性があります。

沖縄周辺海域の海面水温が高かった主な要因は、平年より日射量が多く、風が弱かったためと考えられます。

※1 沖縄地方における地域平均平年差とは、平年値（1991～2020年の平均）と比べて、どのくらい高い（低い）のかを、地域全体でみるものです。那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年差を7地点平均することにより算出しています。

問合せ先：沖縄気象台 地域防災推進課 担当 寺尾
電話：098-917-7922

1. 2025年9月 沖縄県内の気象官署及び特別地域気象観測所における平均気温 5地点で統計開始以降最も高くなりました（1位タイを含む）。

観測地点	月平均気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開始以来の 高い方からの順位 (10位以内のみ)	9月としての これまでの最高		統計開始 年
					月平均気温 (°C)	年	
那覇※	<u>29.7</u>	27.9	+1.8	1	29.0	2009	1890
名護※	<u>29.4</u>	27.6	+1.8	1	28.7	2023	1966
久米島※	<u>29.7</u>	27.7	+2.0	1	29.0	2024, 2023	1958
南大東島	<u>28.7</u>	27.9	+0.8	4	29.2	2017	1942
宮古島※	<u>29.2</u>	27.6	+1.6	1	28.9	2024, 2014	1938
石垣島※	<u>29.8</u>	28.2	+1.6	2	29.9	2014	1897
西表島※	<u>28.7</u>	27.6	+1.1	2	28.8	2017	1954
与那国島※	<u>29.0</u>	27.5	+1.5	1	29.0	2014	1957

・赤字及び下線は9月の極値更新を表します。
・※印は沖縄地方における地域平均に用いている7地点を示します。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・)の付いた値は準正常値です。
・平年値期間は1991～2020年です。

2. 2025年9月 アメダス地点における平均気温 10地点で統計開始以降最も高くなりました。

地点名	月平均 気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開 始年
伊是名	<u>29.3</u>	27.5	+1.8	1977
奥	<u>27.1</u>	25.6	+1.5	1977
北原	<u>29.8</u>	28.0	+1.8	2003
宮城島	<u>29.0</u>	27.5	+1.5	2008
渡嘉敷	<u>27.7</u>	25.8	+1.9	1977
安次嶺	<u>29.8</u>	28.4	+1.4	2003
糸数	<u>27.8</u>	26.0	+1.8	1977

北大東	<u>29.4</u>	28.5	+0.9	2003
旧東	<u>28.9</u>	28.2	+0.7	2003
下地島	<u>28.8</u>	27.9	+0.9	2003
鏡原	<u>28.4</u>	27.4	+1.0	2003
仲筋	<u>29.2</u>	28.1	+1.1	2003
伊原間	<u>29.4</u>	27.7	+1.7	1977
所野	<u>29.0</u>	27.9	+1.1	2003
盛山	<u>29.2</u>	27.7	+1.5	2013
大原	<u>28.9</u>	27.3	+1.6	1978
波照間	<u>29.0</u>	27.7	+1.3	1979

・赤字及び下線は9月の極値更新を表します。
・平年値がある地点のみ掲載しています。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・平年値期間は1991～2020年です。

3. 沖縄周辺海域で9月の月平均海面水温が高かった年（上位順）

東シナ海南部			沖縄の東			沖縄の南		
年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)
2025	30.3	+2.3	2025	30.3	+1.8	2024	30.3	+1.3
2024	29.7	+1.7	2021	29.6	+1.1	2025	30.0	+1.0
2023	29.2	+1.2	2010	29.4	+0.9	1998	29.9	+0.9

- ・ 解析値のある1982年以降の順位。2025年の値は速報値であるため修正されることがあります。
- ・ 平年値期間は1991～2020年です。

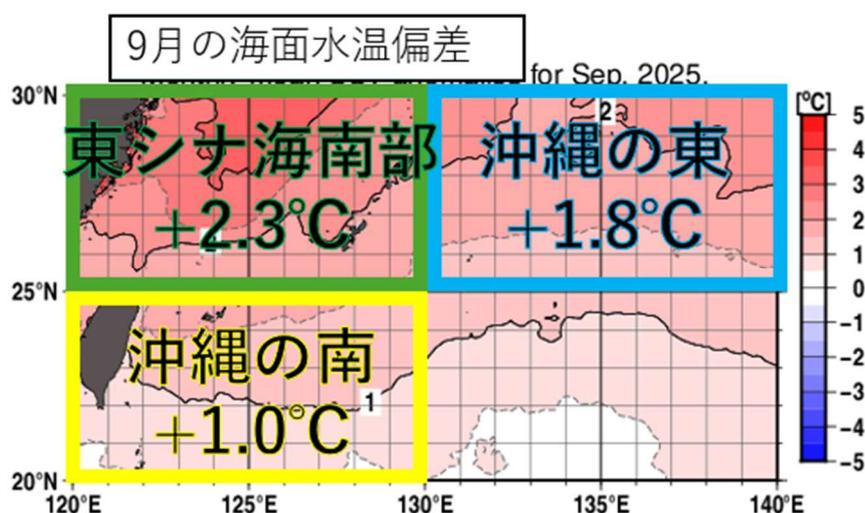


図1 9月の海面水温偏差

暖色系は平年より海面水温の高い領域。寒色系は平年より海面水温の低い領域。図中の緑枠（左上）は「東シナ海南部」、青枠（右上）は「沖縄の東」、黄枠（左下）は「沖縄の南」の海域として海面水温を平均する領域。

4. 気温と海面水温が高くなった要因

日本付近で偏西風が平年より北を流れやすく、上空の暖かい空気に覆われやすかったことや、太平洋高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、沖縄地方では記録的な高温となりました（図2）。また、背景として地球温暖化等の影響により中緯度帯を中心に大気全体の温度が高いことも考えられます。さらに沖縄地方を囲む海面水温が高い状態にあったことも関係している可能性があります。（図1）

沖縄周辺海域の海面水温は、台風や熱帯低気圧の影響を受けにくく、平年より日射量が多かった影響と風が弱かった影響で、東シナ海南部で30.3°C、沖縄の東で30.3°Cと、9月としての歴代最高を記録しました。これには、地球温暖化による海面水温の上昇傾向も背景にあると考えられます。

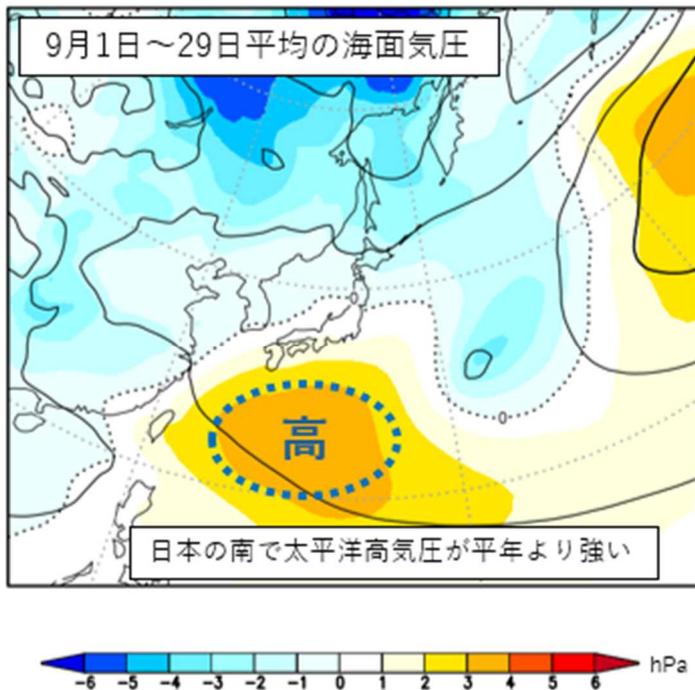


図2 9月1日～29日平均の海面気圧
(実線)と平年偏差(陰影)

暖色系は平年より海面気圧の高い領域。

寒色系は平年より海面気圧の低い領域。

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

沖縄地方の天候：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

沖縄県農業気象旬報：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/nougyo/nougyo.html>

今後の見通しの詳細は、「季節予報」や「沖縄周辺海域の診断表、データ」をご覧ください。

季節予報：

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=011100&term=P1M>

沖縄周辺海域の診断表、データ：

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/OK/dbindex_OK.html